



パレットプラザさの『新刊図書のご案内』

パレットプラザさのでは、子育て、女性活躍、男性の家事参画、DVなどに関する書籍を定期的に登録しています。最近登録になった図書をご紹介します。図書は2週間貸し出しできますので、ぜひご利用ください。

なぜ働いていると
本が読めなくなるのか

三宅 香帆【著】
(集英社新書)

近代日本の労働と読書の関係をたどり、私たちの働き方の問題点にまで言及した注目の本です。本が読めないような余裕のない社会でよいはずはないとして、働きながら本が読める社会を作るにはどうしたらよいかについて提案してくれる作品です。2024年、新書ノンフィクション部門で、年間ベストセラー1位になりました。

教育にひそむジェンダー

中野円佳【著】
(ちくま新書)

赤ちゃんから幼児、小学生、中学生、高校生、大学生の間に育児や教育を通して子どもたちに与えられるジェンダーイメージについて考えてみませんか。学校の在り方にも社会の在り方にも、そこにあるジェンダーの在り方にも、自分が適応してきた構造について、適応できなかった人たちへの想像力を働かせてみましょう。既存の社会に紛れ込むバイアスや構造を疑い、もともと多様な個性を持つ子どもたちが、のびのびと育っていくような社会のあり方を願って書かれた作品です。

男性解放批評序説

杉田 俊介【著】
(集英社)

「会社員」でも「夫」でも「父親」でも「息子」でも「マッチョ」でも「モテ」でもなく、ただの、ありふれたままの、ありふれた「男」として自分のことをまっすぐに愛せるか。男らしさから解放され、人間としての喜びにみちた自由を目指していきたい。著者が近年様々な媒体で発表した、ジェンダーに関わる重要な考察をまとめた一冊です。

カフネ

阿部 暁子【著】
(講談社)

全国の書店員が「今いちばん売りたい本」を決める2025年本屋大賞の受賞作です。食べることを通して人のやさしさと喪失からの再生を描き、誰もが心を温かくする、そんな物語です。「カフネ」とはポルトガル語で「愛する人の髪にそっと指を通すしぐさ」のこと。ラストシーンやカラフルな料理の数々、美しくやさしい表現が深く心に染みわたります。

ケアする私の「しんどい」は、 どこから来るのか

山根純佳 平山亮【著】
(勁草書房)

女性はケアに長けている？タスクさえ平等に分担できれば問題ない？男性の「ケアできない」はなぜ説得力を持つ？ケアにまつわる「常識」が作り出す困難とケア責任を個人に負わせる社会構造を問い、「しんどさ」の正体を描き出す。これまで言語化されなかった育児や介護の困難の核心に迫る一冊です。

地方女子たちの選択

上野千鶴子・山内マリコ【著】
(富山ふるさと文庫 桂書房)

「地方の女性流出」が騒がれるようになりましたが、当の女性たちの本当の姿はあまり見えてきません。それは女性が減ると生まれる子どもの数が減るという「数」でしか見られていないからでしょう。「富山から出ていく」選択をした著者二人が、様々な選択をした女性たちの語りをふまえ、対談し、地方を見つめなおします。

負けるな！ギョーザランド!!

いちごとまるがおさん【画】
篠崎 茂雄【監修】
(株式会社 小学館)

とちぎ未来大使を務める佐野市在住の姉妹クリエイティブユニット「いちごとまるがおさん」と、栃木県をこよなく愛する民族の専門家が、がちりスクラムを組んだ痛快無比のコミックエッセイです。佐野ラーメン、耳うどん、黒から揚げ、大根そばや、唐澤山神社等々、佐野市の名物もたくさん載ってます。北関東3県と埼玉をそれぞれ担当する神様も登場します。

■問合せ 市民生活部人権・男女共同参画課
TEL.0283-61-1140 (内線2213)

